

公表：令和6年3月9日

事業所名 多機能型事業所びっころ16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動人数や内容に応じ、子どもが取り組みやすい位置や過ごし方を考えて環境を調整している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			設備面の変更だけでなく、子どもの動線や活動時の安全を確認しながら必要な配慮を行う。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援中に生じた課題を共有し、次回の活動設定や職員の関わり方を見直すように	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者から得た意見を確認し、支援内容や説明の仕方を振り返る材料としている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価は実施していないため、自己評価等で把握した課題を具体的な改善につなげていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			子どもの支援に必要な知識や対応について職員間で確認し、日々の支援に活かせるよう努めている	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人・保護者からの情報に加え、学校生活や事業所での様子を整理して計画作成につなげている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用し、得意なことや苦手な場面、支援時のポイントを整理している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもの興味や生活年齢を踏まえ、活動の目的と取り組み方を職員間で検討している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動が続かないよう内容を見直し、同じテーマでも役割や難易度を変えて経験の幅を広げるよう工夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校のある日と休業日で疲労や生活リズムが異なることを踏まえ、活動量や課題の設定を調整している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動の中でも、理解の仕方や参加のペースに応じて個別の説明や支援を行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に学校からの連絡や当日の状態を確認し、活動上の注意点を職員間で共有している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後の気付きを共有し、次回の声掛けや環境設定を変える必要があるか確認している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録には子どもの反応と支援者の関わりを残し、個別支援計画の目標に対する変化を確認している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			家庭や学校での変化も踏まえ、現在の目標や支援方法が合っているかモニタリング時に確認している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			生活、学習、余暇など一つの活動に偏らず、子どもに必要な経験を組み合わせるよう意識している	
						関係機関との共有が必要	

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			な場合は、事業所での様子や有効だった関わり方を整理して伝えている。			
㉑	学校との情報共有 (年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との連携が必要な場合は、下校時等の情報だけでなく支援上必要な内容を確認するようにしている。			
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象児童なし。			
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて保護者の同意を得ながら、就学前の支援状況を確認し現在の関わりに活かしている。			
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				対象児童なし。			
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関から得られた情報や助言がある場合は、支援方法を考える際の参考としている。			
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		地域の子どもの交流機会は限られているため、本人の希望や支援上の目的を踏まえて必要性を検討する。		
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		地域の会議等について情報を確認し、支援に関係する内容を職員間で共有できるよう努める。		
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家庭と事業所の様子を伝え合い、本人の変化や困りごとを共通して捉えられるようにしている。			
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		家庭で取り入れやすい具体的な対応を伝えているが、継続的に活用しやすい説明方法を工夫する。		
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時等に支援内容や利用者負担について説明し、不明点を確認しながら進めている。			
㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談内容を具体的に確認し、本人の発達段階や家庭・学校での様子を踏まえて助言するようにしている。			
㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者同士の交流については、希望を把握しながら事業所として可能な支援方法を検討する。		
㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や要望があった場合は必要な職員で共有し、対応内容にばらつきが出ないよう確認している。			
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動内容だけでなく、支援のねらいや子どもの様子が伝わるよう情報発信を工夫している。			
㉟	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が必要な範囲で扱い、共有方法や保管に注意するよう職員間で確認している。			
㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者の理解に合わせ、説明の量や言葉を調整して伝えるようにしている。			
㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		地域との交流は限定的であるため、安全面と本人の負担を考慮しながら実施の必要性を検討する。		
㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時に必要な対応や連絡について確認し、職員が共通して動けるようにしている。			
㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難時に配慮が必要な子どもの様子を踏まえ、安全に行動できるよう対応			

未回收：3家庭

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0	1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	0	0		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	0	1		
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6	0	0	0		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1	0	0		
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	0	3	児童館などとの交流があるのか分らない。	交流の実施を前提とせず、本人の希望や支援上の必要性を踏まえて、必要な機会や連携方法を検討します。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	0		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0		
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	2	保護者同士で話す機会は少ない。	保護者のニーズを確認しながら、事業所として可能な情報提供や交流の方法を検討します。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	1		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	1		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	6	0	0	0		
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	0	0	1		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出などの必要訓練が行われているか	3	1	0	2	避難訓練について、いつ行っているのか分らない。	非常時の取組が保護者にも伝わるよう、訓練や安全管理に関する

		、その他必要な訓練が行われているか					に、い。	る情報提供を工夫します。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1	0	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0		

㊦ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。